

# 市議会 だより

第242号

令和6年6月1日発行



- 3月定例会での主なことから…………… ②③④
- 代表質問…………… ⑤⑥⑦
- 個人質問…………… ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭
- 委員会の活動状況・女性の意見を聴く会…………… ⑮
- 議会日誌…………… ⑯



第9回 尾張旭市議会報告会



# 3月定例会での主なことから

尾張旭市議会令和6年第1回（3月）定例会が、2月27日から3月22日までの25日間開催され、市長提出議案32件、同意案4件、陳情1件、議員提出議案1件、委員会提出議案2件、意見書案1件を審議しました。採決の結果、市長提出議案32件、同意案4件、議員提出議案1件、委員会提出議案2件、意見書案1件を可決等し、陳情1件を不採択としました。

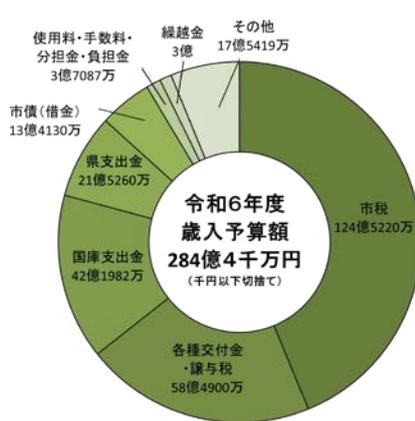
## 予算関係

### ▼令和6年度当初予算

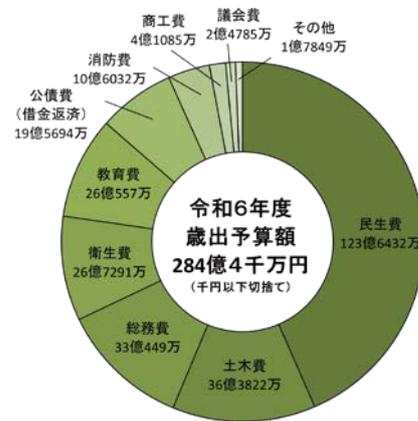
一般会計予算は、前年度比11.4%増の総額284億4千万円となりました。

主な歳入は、**市税**では、2億5940万円の減額で124億5220万円。**地方交付税**では、8億3千万円の増額で28億6千万円。**国庫支出金**では、9億6578万円の増額で42億1982万円。**繰入金**では、5億360万円の増額で7億2890万円。**市債**では、7億2690万円の増額で13億4130万円としました。

主な歳出は、**民生費**では、国民健康保険特別会計繰入金などの増額により、9億3726万円の増額で



123億6432万円。**土木費**では、三郷駅周辺まちづくり事業などの増額により、15億267万円の増額で36億3822万円。**消防費**では、防災倉庫整備事業などの増額により、1億2088万円の増額で10億6032万円。**教育費**では、公民館トイレ改修事業などの増額により、2億



1556万円の増額で26億557万円。

各特別会計の予算総額は、157億8920万円。水道事業会計は、23億2141万円。公共下水道事業会計は、35億7207万円とし、全予算総額501億2268万円としました。

### ▼第1号 令和5年度一般会計補正予算(第6号)

国の補正予算に基づく補助事業や能登半島地震を踏まえた関係予算を追加するほか、決算見込み等に基づく予算額の調整などをしようとするもので、総額297億705万円としました。

### ★令和5年度補正予算一覧(千円以下切捨て)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計(第6号)	3億8444万円	297億705万円
国民健康保険特別会計	1億円	71億9855万円
介護保険特別会計	1億1812万円	62億4763万円
公共下水道事業会計	1050万円	20億4193万円
収益的収入		

## 条例関係

### ▼第17号 体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

総合体育館の設備の拡充に伴い、その運用に係る費用の一部を受益者負担とするため、所要の整備を図り、令和6年7月1日から施行します。

### ▼第27号 市営住宅設置及び管理に関する条例の一部改正

配偶者からの暴力の防止及び被

害者の保護等に関する法律の一部改正に伴い、所要の整備を図り、令和6年4月1日から施行しました。

## 人事案件

(以下 敬称略)

### ▼同意案第1号 公平委員会委員の選任

次の方の選任に同意しました。

・中村昌弘(72歳)

桜ヶ丘町二丁目

### ▼同意案第2号 固定資産評価審査委員会委員の選任

次の方の選任に同意しました。

・田島敬二(67歳)

渋川町三丁目

### ▼同意案第3号 教育長の任命

次の方の任命に同意しました。

・三浦明(60歳)

### ▼同意案第4号 固定資産評価委員の選任

次の方の選任に同意しました。

・松原芳宣(55歳)

## ☆ 議案等の審議結果 ☆

議案番号	会派名 件名	可 否	令和あさひ							市民クラブ				公明党 尾張旭市議団		日本共産党 尾張旭市議団		愛知維新の会 尾張旭市議団			
			秋田さとし	さかえ章演	陣矢幸司	谷口武司	日比野和雄	松原たかし	安田吉宏	若杉たかし	市原誠二	いとう伸一	大島もえ	櫻井直樹	早川八郎	芦原美佳子	片淵卓三	丸山幸子	川村つよし	榎原利宏	勝股修二
第1号	令和5年度一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	令和5年度公共下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	令和6年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
議員提案第1号	令和6年度一般会計予算(附帯決議)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	令和6年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第7号	令和6年度土地取得特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	令和6年度旭平和墓園事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	令和6年度介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第10号	令和6年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第11号	令和6年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	令和6年度公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	行政組織の変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	職員定数条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第18号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	東部市民センターの設置及び管理に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号	廃棄物処理清掃条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第23号	介護保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×

(次ページに続く)

議案番号	会派名 件名	可 否	令和あさひ							市民クラブ					公明党 尾張旭市議団		日本共産党 尾張旭市議団		愛知維新の会 尾張旭市議団		
			秋田さとし	さかえ章演	陣矢幸司	谷口武司	日比野和雄	松原たかし	安田吉宏	若杉たかし	市原誠二	いとう伸一	大島もえ	櫻井直樹	早川八郎	芦原美佳子	片淵卓三	丸山幸子	川村つよし	榎原利宏	勝股修二
第24号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号	市営住宅設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第28号	水道事業の設置等に関する条例及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第29号	水道事業給水条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第30号	水槽付消防ポンプ自動車の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第31号	市税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第32号	高規格救急自動車の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第1号	公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第3号	教育長の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第4号	固定資産評価員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
委員会提案第1号	議会基本条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提案第2号	議会委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第1号	地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 を表示しています。

網掛けは、討論を行った議員です。

討論の内容は、市議会のホームページ（「提出議案と議決結果」で検索→定例会名）から御覧いただけます。

議長（丸山幸子）は採決に加わりません。

★令和6年第3回6月定例会の日程（予定）

6月7日から6月28日までの22日間で開催する予定です。

詳細な日程につきましては、市議会ホームページを御覧ください。

市議会ホームページ▶



## 代表質問

※議長(丸山幸子)、副議長(松原たかし)、監査委員(若杉たかし)は、慣例により一般質問を控えています。

令和あさひ



さかえ章演 議員



(動画配信)

### Q 市長就任後、1年目の総括について伺う

触れ合い、対話を通じて  
**A** 現場を知ることにも努め、種をまく1年だった

### Q 公金詐取への対応で、損害賠償、再発防止等に向けた取組等について伺う。

**A** 市長 公金詐取を行った元職員への損害賠償については、破産手続の開始決定により、刑事訴訟手続の中で賠償義務を確定させることはできなかったが、支払いの合意は成立している。

当時の会計管理者の賠償責任については、監査委員から賠償責任を認める報告がなされたため、現在、賠償命令に向けた手続を進めている。

### Q チャレンジ事業で、効果や継続発展の考えについて伺う。

**A** チャレンジ事業は市長就任後、間もない時期に制度化を指示した取組。

これまでに28件の事業を予算化している。職員のアイデアが具現化され、事業として進んでいく中で、職員の意欲の高まりや波及効果を感じる。

令和6年度も、課題を整理し、必要な見直しを行った上で継続していく。

### Q 「第六次総合計画」で、特に注力する分野について伺う

**A** 令和6年度においては、防災を始めとする「安全安心」と「子育て・教育」に注力する

### Q 「安全安心」について伺う

**A** 今回の能登半島地震の発生により防災意識が高まっている。地域防災力強化につなげていく

### Q 能登半島地震被災地の支援内容や教訓を生かした防災施策について伺う。

**A** 市長 発災直後から、緊急消防援助隊を筆頭に、救助、給水、被害調査などの支援活動で40名以上の職員の派遣や2月末で1500万円を超える支援金をお預かりしている。

平時からの備えの重要性を再認識し、防災倉庫や備蓄物資、ペット避難の在り方について具体化していく。

### Q 避難所及び防災施設の整備について伺う。

**A** 能登半島地震で、避難所への物資配送が滞る課題が浮き彫りになった。令和6年度早々に、指定避難所の公民館、東部市民センター、全3中学校の体育館について、空調設備やトイレの洋式化等の整備を行う。また、令和7年度に物資配送の問題解決のため、集約型の防災倉庫の新設について完成を目指す。

### Q 「健康・福祉」の地域医療・福祉医療の今後の取組について伺う

**A** 産婦健診の助成拡大や带状疱疹予防ワクチンの費用助成など、幅広い年代で求められる必要な事業を推進する

### Q 「子育て・教育」で、老朽化が進む保育園や児童館の整備改善について伺う

**A** 本地ヶ原保育園の増築、保育園3園の廊下や、中部保育園遊戯室の床改修、児童館4館の空調、平子児童館外壁改修等を行う

### Q 保育園の待機児童対策について伺う。

**A** 市長 本市の待機児童は、令和5年度は新規入園申込みが534人あり、空きがなく、一旦入園を保留した児童数は156人。その後、一時保育や認可外保育所の利用、育児休業延長で、最終的な待機児童数は8人。

令和6年度は、新規申込みが70人多い604人。一旦入園を保留した児童数は218人。

保護者が働きながら安心して子育てができるよう、待機児童の受皿の確保に向け、緊急で対策を進めるよう担当課に指示した。

### Q いじめ・不登校対策について伺う。

**A** 教育長 この課題は教育に携わる者にとって最重要課題だ。その対策として、令和5年度から旭中学校で始めた校内教育支援ルームを令和6年度は他の中学校でも設置する。また、校外でも同様の機能を備えた教育支援センターを設置し、児童生徒の居場所づくりや学びの場を提供する。

### その他の質問項目

- 「経済・多様性」について
  - ・ 地域産業の振興について
  - ・ 魅力商品開発プロジェクト「旭色」の今後の展開について
- 「環境・都市基盤」について
  - ・ 環境基本計画に基づく取組について
  - ・ 駅周辺整備と土地区画整理事業の推進について
  - ・ 自動運転バスの導入について
- 「共創・行政経営」について
  - ・ 物価高騰対策について
  - ・ 行政組織の変更に期待する効果について

## 代表質問

### 市民クラブ



早川 八郎 議員



(動画配信)

**Q** 防災において、地元プロ集団との連携をもっと充実しては？

**A** 地元事業者を始め、多くの関係者、関係団体の協力が不可欠

**【防災と地元プロ集団との連携について】**

**Q** 市長が掲げる一丁目一番地は「安全安心」であり、特に「防災」を最優先するとのこと。そして、今年元旦に起きた能登半島地震で、多くの方の防災意識が更に高まったと感じる。また、被災地支援活動で得た教訓を生かすとのことだが、その中に地元企業や医師などのプロ集団ともっと連携する必要があると感じるが？

**A** 市長 市民の自助、共助はもとより、地元事業者を始め多くの関係者、関係団体の協力が不可欠。チャレンジ事業として実施した、ペット同室避難の実証実験においても、獣医師などの専門家の協力を得ることが、災害対応に非常に有益であることを実感した。本市では、医療・福祉支援や災害復旧など、専門性の高い分野において、30を超える各種団体等との協定を締結している。なお、福祉支援については、よりきめ細やかな対応が必要となってくることから、専門性を有する地元福祉施設との連携を図っていきたい。



**Q** 市長が目指す、次世代の教育改革の未来像について伺う

**A** 誰一人取り残されることがなく、学びの場を提供し続けることが大切である

**【次世代の教育改革について】**

**Q** 教員の働き方改革、部活動支援、スクールカウンセラー増員、空調設備充実などソフト面、ハード面共に課題が山積みである。そこで、市長が目指す次世代の教育改革の未来像について伺う。

**A** 市長 第一に、誰一人取り残されることがなく、全ての子どもたちが健全に学ぶ場を提供し続けることが大切であり、個々の課題に一つ一つ、きめ細やかに解決していくことが必要。このことで、将来の尾張旭、日本、ひいては、世界をリードする人材育成につながることを願っている。



**Q** チャレンジ事業において、将来は大きな予算を使った事業も展開するのか？

**A** 継続のめどがついたものや成長に期待が持てるものは予算に組み込む

**【チャレンジ事業の未来像について】**

**Q** チャレンジ事業は市民のためだけでなく、職員の士気を高める・活気を生み出すという点でも、すばらしい取組。今は小さな予算でできることから取り組んでいると思うが、将来は大きな予算を使った事業も展開していくのか？

**A** 市長 これまでに予算化したチャレンジ事業は、1件当た

り50万円前後を目安として、職員からの提案を募集している。チャレンジ事業の仕組みは、新たな取組を始めるための「種まき」という性格を持っているため、種をまいた取組が芽吹き、成長し、継続のめどがついたものや、更なる成長に期待が持てるものは、通常の予算に組み込んでいく。今後もチャレンジ事業の中から、夢のある、大きく成長する事業が出てくることを期待しながら、取組を進めていく。



**Q** 警察署誘致をどのように進めていくことが、本市にとって有益なのか？

**A** 「治安の良い市」としての評価が高まれば、未来像を描く上で価値が高い

**【警察署誘致の考え方について】**

**Q** 警察署誘致は長年様々な方面からの要望があると思うが、実際この課題を本市はどのように進めていくことが、未来の尾張旭市にとって有益なのか？

**A** 市長 警察署を誘致できれば、治安の安定のみならず、運転免許証の更新手続など、市民にとって利便性の向上が図られることが期待できる。そして、「治安の良い市」としての評価が高まることにより、本市で暮らしたい子育て世代の増加につながるほか、事業者や企業が、その立地を選ぶ際に好条件となることなど、本市の未来像を描く上で、価値の高いものと考えている。



## 代表質問

公明党尾張旭市議団



芦原美佳子 議員



(動画配信)

**Q** 学校におけるBCP(事業継続計画)対策について

**A** 子どもたちや地域住民の安全安心を守るためにも、学校防災マニュアルを準備しておく必要がある

**Q** 文部科学省は学校BCP対策の基本となる学校防災マニュアル作成の手引きを作成しており、各学校は実情に合わせた独自の学校防災マニュアルの作成が求められている。現状と今後の取組を伺う。

**A** 教育長 各校において避難計画など危機管理に関する基本的な対応についてはまとめられているが、大規模災害発生時の教育活動継続のための学校BCP対策の基本となる学校防災マニュアルについては作成がされていない。近隣市町や文部科学省の作成マニュアルを参考に準備を進めるとともに、学校における防災対策の確認を行うように努める。

**Q** 認知症施策の推進について

**A** VR機器で受検者の負担軽減等のリニューアルをする「あたまの元気まる」や、「らくらく脳の健康教室」の取組を継続する

**Q** 認知症予防とともに、いつ誰が認知症になっても安心して暮らせる環境づくりは喫緊の課題。認知症基本法の内容を踏まえた施策の充実について伺う。

**A** 市長 地域で認知症の方や家族を見守る支援者を増やすため、認知症サポーター養成講座

の開催や、認知症に関する正しい知識の更なる普及啓発に努めるなど、本人や家族が、社会の中で安心して暮らせる環境づくりを進めるとともに、本市に適した認知症施策が行えるよう、情報収集に努める。

**Q** 乳幼児健診の拡充を！

**A** 5歳児健診については、発達・保育などの関係機関と連携し、実施に向けて体制を整備していきたい

**Q** 出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の整備を！

**A** 市長 乳幼児健診は、子どもの発育・発達や健康状況に加え、家庭での養育環境や保護者の状況などを確認することで、必要な支援につなげることができる「切れ目のない子育て支援」の根幹をなす取組だと認識している。

**Q** 待機児童対策及び保育士の負担軽減と処遇改善を！

**A** 待機児童対策については、保育ニーズに対応するため、先んじて更なる一手を打つ必要がある

**Q** 待機児童対策とともに保育士の負担軽減や処遇改善についてもセットでの対応を！

**A** 市長 全国的に保育士不足と言われる中、保育士の負担軽減につながる職場環境や処遇改善は、人材確保の面からも、より重要性を増す。本市では、保育士が本来の業務に専念できるよう負担軽減を図るとともに、働きやすい職場づくりに努めてきた。今後も積極的に現場の声を聴き、職場環境の改善に、順次、取り組んでいく。

**Q** 不登校児童生徒等への支援の充実について

令和6年度は、校内教育支援教育ルームを他の中学校へ拡大するとともに、校外教育支援センターの設置を予定している

**Q** 令和5年度は校内教育支援ルームを旭中学校に設置したが、不登校対策の成果や課題、今後の支援の充実について伺う。

**A** 教育長 旭中学校では、校内教育支援ルームに足を運ぶ生徒も増え、成果は着実に感じているように感じる。従来の相談業務も校外教育支援センターで行うことにより、一体となった取組が行える。不登校に至る原因は一人一人異なるため、一人一人に寄り添い、誰一人取り残されない教育を実現する。そのためにも、様々な形での居場所づくりに努めるとともに、社会的自立を支援する取組を行っていききたい。

**Q** 動物との共生社会を目指す取組について

**A** 野良猫緊急対策事業を開始し、クラウドファンディングによる寄附金を財源に、野良猫の避妊等手術費補助金を拡充したい

**Q** 動物との共生社会を実現するための今後の取組について

**A** 市長 令和6年度から新たに始まる環境基本計画では、ペットの適正飼育や、地域の中で猫を適正管理する「地域ねこ活動」などにより、環境に配慮した都市空間づくりを目指すこととしており、動物とより良い関係が築けるよう、啓発や支援を進めていく。

その他の質問項目

- 環境・都市基盤について
  - ・食品ロス削減について
  - ・三郷駅周辺まちづくりについて
  - ・公共交通の利便性向上について

## 個人質問



いとう伸一 議員



(動画配信)

**Q** 国民健康保険の健康診査の更なる受診を！

**A** 市民の健康及び暮らしの質向上のため、受診率向上に向け受診勧奨を行う

**Q** メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣病対策につながる「特定健康診査」の受診率を伺う。健康都市として県内1位を目指してほしいので、増大対策を伺う。

**A** 保険医療課長 令和4年度受診率は45.5%で県内38市の高いほうから13番目。

**A** 健康福祉部長 40歳から45歳男性の受診率は県内平均を下回るので、若い世代を重点にし

た受診勧奨を行う。

**Q** 市民に市民憲章が浸透していない。見直しをしようか？

**A** 見直すには大きな動機と、慎重なプロセスが必要と考える

**Q** 5か条で平仮名133文字数を、3か条で半分以下の文字数にまとめ、覚えやすくしようか？

また「青少年に夢と老人に安らぎ」を「皆に、夢と安らぎ」とか「きまりを守り」は「マナーを守り」に変える等、時代に合った文言への変更を提案する。

**A** 企画部長 現時点では見直しの考えはないが、見直す際には指摘された箇所は論点になると考える。また他自治体の動向等も注視する。

**Q** 尾張旭ブランドを向上させ「紅茶に合うお菓子コンテスト」を開催し全国に発信を！

**A** 紅茶のお菓子の開発に、コンテストの要素を加えることで、商品の質の向上や話題性が生まれる

**Q** 「おいしい紅茶のまち」のブランドイメージを向上させ、「紅茶に合うお菓子コンテスト」を開催し、全国から尾張旭ブランドのお菓子の販売や開発の引き合いが来るようにして、本市にメリットをもたらしたい。

**A** 市民生活部長 全国から「国産紅茶グランプリ」の出品をいただくようになった。本市のブランド向上につながるお菓子の誕生も考えられるので、まずは関係各位と情報共有を図っていききたい。



櫻井 直樹 議員



(動画配信)

**Q** 65歳以上の高齢者のみの世帯は、家具転倒防止支援事業が利用できる。その周知方法は？

**A** 防災ガイドブックや広報及びホームページなどで、周知を図っている

**Q** 高齢者向けの様々なサービス事業が、高齢者に伝わっていないことが考えられる。民生委員の方が、実態調査で戸別訪問するとき、サービス事業を知らせることはできないか？

**A** 健康福祉部長 民生委員の訪問時において、様々な支援事業に係るチラシなどを配付してお知らせすることは可能である。

**Q** 民生委員の負担を軽減するために、安全な生活に特化した高齢者向けのサービスを一覧表にした1枚物のプリントがあれば、高齢者に説明しやすいと考えられるが？

**A** 防災部局などと連携し、高齢者の安全な生活に特化したパンフレットの作成及び民生委員による「高齢者世帯等実態調査」の訪問時に配付することについても、検討していきたい。

**Q** 市内の住宅の中で、昭和56年以前の旧耐震基準のままの建物の戸数と市全体の耐震化率は？

**A** 市内の旧耐震基準の住宅の数は、8,650棟で、耐震化率は83%である

**Q** 本市では、住宅の無料耐震診断の結果により、耐震改修の補助制度が利用できる。どのよ

うな補助制度なのか？

**A** 都市整備部長 耐震診断の結果、「倒壊する可能性が高い」又は「倒壊する可能性がある」と判定された住宅の耐震改修工事に対し、上限100万円を補助する「木造住宅耐震改修費補助」を実施している。

その他にも、寝室などの1室のみを補強する耐震シェルターの整備に対し、上限30万円を補助する「木造住宅耐震シェルター整備費補助」がある。

**Q** 耐震シェルターとは？

**A** 都市計画課長 耐震シェルターとは、居間や寝室などの滞在時間が長い1室に、木材や鉄骨で部屋の内側に箱型の安全な空間を作るもので、地震により住宅全体が倒壊しても、丈夫なシェルターだけは壊れることなく、人の命を守ることができる。

# 個人質問



谷口 武司 議員



(動画配信)

## Q 車中泊による自主避難者への対応について伺う

現在、車中泊避難を推奨していないが、避難方法の一つとして選択されることが想定されるため対策を検討する必要がある

A

【内閣府の調査では熊本地震においてアンケート回答者の74.5%の方が車中泊を経験されたとある。推奨はできないものの健康被害の発生・ルールやマナーについて先行して周知していく必要があると思われる。】

## Q 車中泊避難への課題は？

A 総務部長 「車中泊避難が可能な場所の指定」「健康被害が

発生する」「避難者の状況把握が困難」といった課題がある。

## Q どのような対応策が考えられるか？

A 災害対策監 「指定避難所のグラウンドなど広く安全なスペースの確保」「エコノミー症候群などに対する注意喚起」「避難所利用者登録票の提出」といった対策が考えられる。

## Q 車中泊避難ガイドブックの作成をしてほしい

A 総務部長 車中泊の留意点や事前準備などを啓発するよう他の自治体の情報収集を進め、検討していきたい。



【豊田市 二次元コード加工】

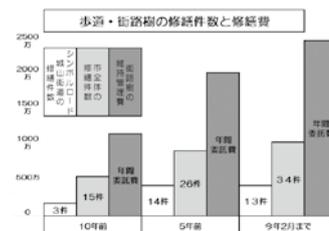
Q

街路樹の更新と同時に適正な歩道の修繕を行ってほしい

A

道路交通の安全確保と景観に配慮した適切な管理及び更新を行っていく

【市制54年、樹木の成長に伴い歩道の修繕と街路樹の維持管理費が増加している。計画的な修繕計画と合わせて、歩道の整備を考慮するときだと思う。城山街道の歩道は2.4mあるが、0.8mの植樹ますを含んでおり、実際は1.6mしかなく、根上がりによる段差も目立つ。】



市原 誠二 議員



(動画配信)

## Q 小中学校における給食当番エプロン（白衣）の共用を廃止すべき！

A 本来の目的が確保できれば、各家庭の都合に応じた対応も考えられる

Q 給食当番のエプロン共用を廃し、私物等にすることで、保護者や児童生徒、教員の負担軽減など、各種課題に対応できる。

A 教育部長 本来の目的である「衛生的な配慮」や「衣服の汚れ防止」などが確保できれば、児童生徒の状況や各家庭の都合に応じた対応も考えられる。ただし、保護者の意見を聴くなど、詳細な内容の調整も必要になる。

Q

災害時の断水に備え集会所等へ「手押し井戸」を設置すべき！

A

瑞鳳地区のような既存井戸の活用については有効と認識しており調査・研究したい

Q 当市には配水車が1台のみ。集会所等に井戸を設置し、生活用水確保の一助にしてはどうか？

A 総務部長 各地域の集会所等に、新たな井戸の設置をするといった考えはないが、瑞鳳地区で実施の既存の井戸活用は、有効であると認識しており、調査・研究したい。

Q

「南海トラフ地震臨時情報」に備えた対応を想定しておくべき

A

臨時情報の啓発と図上訓練に取り入れたい

Q 「臨時情報」発出時の本市の

対応について伺う。

A 総務部長 非常配備体制を執り、体制強化を図るとともに、市民に対し、迅速かつ的確に情報伝達を行う。

Q 一部地域においては、津波に備えて、臨時情報の種類によっては「事前避難」を求められる地域もある。本市は対象地域か？

A 本市は対象地域ではない。なお、指定されている対象住民は、1週間の避難が求められる。

Q 臨時情報を想定した地域での訓練の実施も重要では？

A 災害対策監 訓練内容について相談があった際に、「南海トラフ地震臨時情報への対応」についても、提案したいと考えている。



# 個人質問



安田 吉宏 議員



(動画配信)

## Q 霞ヶ丘線全線開通について

**A** 東名高速道路西側の側道との交差点への信号機は、できる限り早期に設置いただけるよう公安委員会と協議を重ねている

**Q** 全線開通に向けた取組は？  
**A** 都市整備部長 歩行者の安全確保のため、ガードパイプを設置するとともに、公安委員会と調整し、車両の速度抑制や駐車禁止などの規制についても実施していただく予定である。



## Q 本市の小学校の音楽関係部活動について

**A** 令和6年度の音楽関係部活動の運営は、部活動から地域連携体制へと移行し名称は「尾張旭市金管クラブ」に変更する

**Q** 具体的には？  
**A** 教育長 部活動としての位置付けがなくなることから、教員が顧問を行う体制から、市が雇用する外部講師を音楽指導者等として派遣し、運営していく体制となる。なお、音楽指導者等の中には、教職員が兼職兼業を認めた指導者として関わる場合もある。

**Q** 今後の方針は？  
**A** 令和8年度までの3年間は、地域連携体制として活動を進め、令和9年度からは、本活動を地域移行できるように更に進めていきたいと考えている。

## Q 中学校の部活動の地域移行について

**A** 中学校の部活動は、令和6年度も教職員が顧問を担う形で行っていく

**Q** 小中学校部活動地域移行検討委員会の協議内容について  
**A** 教育長 11回の会議を重ねてきたが、他市町の休日部活動の移行状況について情報収集し、本市に合う移行方法は何かを検討している状況である。  
**A** 教育政策課長 国のガイドラインの変更があり、令和5年度から令和7年度までの3年間について、学校部活動を地域に移行する「改革集中期間」から地域連携を含めた「改革推進期間」となったことにより、地域移行の達成時期は「地域の実情に応じて可能な限り早期実現を目指す」という表現になった。



柿原 利宏 議員



(動画配信)

## Q 国保税値上げ5%以上増額としない一般会計繰入れをやめるとどうなるのか

**A** 繰入れを縮小しながら、税率5%以上の引上げを検討せざるを得ない

**Q** 国保税は令和4年度から標準保険料率目指して連続値上げしている。令和6年度は一般会計繰入れ約1億2千万円を物価高騰対策として行い値上げ幅を4.91%に抑えた。そのため、令和7年度から赤字解消計画を策定し、保険税値上げすることになる。法定外繰入れは違法ではない。今後も国保税が厳しく上昇するのなら低所得者への独自

## 減免施策を考えるべきではないか。

**A** 健康福祉部長 市独自の減免は決算補填等の目的とみなされ難しい。

**Q** 令和6年度は国保税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の同時値上げである。モデルケースで令和5年度と比べるとどうなるのか。

**A** このモデルで75歳以上夫婦は3万1600円増額。夫75歳以上、妻74歳の場合3万900円増額。夫妻ともに75歳未満の場合2万3400円増額となる。

**Q** 74歳未満の夫婦で、値上げの配慮方針を適用せず標準保険料率のままだったらどうなるか。

**A** 保険医療課長 令和6年度国保税は10万9100円となり、1万1400円、率で11.67%の増加となる。

介護保険料・国保税・後期高齢者医療保険料の値上げ

来年度は所得の**25%**が社会保険料に



モデル世帯  
 夫・年金支払額10万円(所得10万円)  
 妻・年金支払額10万円未満(所得5万円)  
 所得100万円で  
 保険料25万円

夫・妻ともに75歳以上(単位:円)			
	2023年度	2024年度	差額(増減率%)
介護保険料	世帯主 68,800	79,000	10,200(14.8)
	妻 50,800	59,200	8,400(16.5)
後期高齢者医療保険料	世帯主 79,200	90,100	10,900(13.8)
	妻 24,800	26,700	1,900(7.5)
合計	223,400	255,000	31,600(14.1)

夫75歳・妻74歳(単位:円)			
	2023年度	2024年度	差額(増減率%)
介護保険料	世帯主 69,600	79,000	10,200(14.8)
	妻 50,600	59,200	8,400(16.5)
後期高齢者医療保険料	世帯主 94,000	105,100	12,100(12.8)
	妻		
国民健康保険税	世帯主 18,500	18,700	200(1.1)
	妻		
合計	232,100	263,000	30,900(13.3)

夫・妻とも75歳未満(単位:円)			
	2023年度	2024年度	差額(増減率%)
介護保険料	世帯主 88,800	75,000	10,200(14.8)
	妻 50,800	59,200	8,400(16.5)
国民健康保険税	世帯主 97,700	102,500	4,800(4.9)
	妻		
合計	217,300	240,700	23,400(10.8)

尾張旭市保険医療課資料より作成

全国市長会・全国町村会  
 政府国保施策に意見提出  
 政府が進める国保の法定外繰入の解消等は「国保等の運営者の苦境と被保険者の負担感に配慮したのではなく、地方分権の趣旨に反する」  
 令和2年12月2日

議員が紹介した  
 全国市長会等の意見

## 個人質問



日比野和雄 議員



(動画配信)

**Q** 令和5年末に実施した市営バスあさび一号の「年末の試験運行」について

**A** 12月29日、30日、31日の3日間合計で810人の方に御利用いただいた

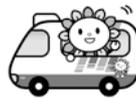
**Q** 新設停留所について伺う。

**A** 都市整備部長 東ルートに新設した「東大久手」停留所は、一月当たり約180人の利用があった。なお、隣接する「東栄町交差点」停留所の利用が一月当たりで約30人減少しており、「東大久手」停留所へと利用転換がうかがえるが、それ以上に「東大久手」停留所が利用されていることから、新たな利用が生み

出されたと推察している。西ルートに新設した「大森北」停留所については、一月当たり約60人の利用にとどまったので、周辺地域への周知を行うことで利用促進につなげたい。

**Q** 「乗りこぼし」について伺う。

**A** 市営バスあさび一号の利用状況については、コロナ禍の前に戻りつつある。特に午前中の便においては、通院や買物を目的とした利用の集中に伴う「乗りこぼし」が増加しており、その対応は喫緊の課題と認識している。現在は、対応策の検討を進めている。



**Q** 市役所庁舎における視覚障がいのある人への配慮について

視覚障がい者用点字ブロックを設置しており、**A** 総合案内までお越しいただいた後、職員が目的の部署へ御案内している

**Q** 視覚障がいのある人への投票支援について伺う。

**A** 総務部長 選挙が執行される際、福祉部局と連携し、希望者に選挙公報を読み上げた「声の広報」を配付している。投票所では、点字による投票を行うことができるほか、自ら候補者の氏名等を記載できない場合は、職員による代理投票制度もある。

**Q** 今後の取組について伺う。

**A** 健康福祉部長 「声の広報」や「声の市議会だより」を発行している。今後は、「ユニボイス」の活用を進めていきたい。



片渕 卓三 議員



(動画配信)

**Q** 能登半島地震を踏まえての防災・減災対策(水の地震対策とトイレ対策)について伺う

**A** 水道管の耐震化を継続的に進め、災害時の自助への備えとしてトイレ対策品の備蓄を進めるよう、周知していく

**Q** 元日に発生した能登半島地震では、水、トイレ、避難所、学びの確保、民間と自治体との連携等の課題が改めて浮き彫りになった。本市の水の地震対策について伺う。

**A** 上下水道部長 災害時においても水道水の安定供給が持続できるよう、今後も水道管の耐

震化を継続的に進めていく。

**Q** 本市の水道管の耐震化率と、愛知県及び全国の平均値について伺う。

**A** 上水道課長 令和4年度末時点の本市水道管のうち基幹管路の耐震化率は37.5%。比較の可能な耐震化率は令和3年度末の実績値では、本市が36.9%、愛知県の平均値が44.0%、全国の平均値が27.4%である。

**Q** トイレ対策についてであるが、避難所でのトイレ対策について伺う。

**A** 総務部長 避難所である市内小中学校12校にマンホールトイレを5基ずつ整備している。また、組立式段ボールトイレやトイレ処理セットを校区防災倉庫に備蓄しており、あらゆる避難環境を想定した対策を講じている。

**Q** 在宅避難でのトイレ対策について伺う。

**A** 在宅避難の方でも、「避難所利用者登録票」を提出することで、避難所避難の方と同様の支援を受けることができ、備蓄物資であるトイレ処理セットなどを受け取ることが可能である。しかしながら、トイレ処理セットなどの備蓄にも限りがあり、まずは自助への備えとして、トイレ対策品の備蓄を準備していただくよう、今後、様々な方法で周知していく考えである。

その他の質問項目

○自治会のデジタル化で、負担軽減と加入促進について

○認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて

## 個人質問



秋田さとし 議員



(動画配信)

### Q 交通事故のない安全・安心なまちづくりについて

4月から始まる新たな生活道路整備基本計画で交通安全対策を推進する

Q 今後、交通安全のためにゾーン30プラスの設置について伺う。

A 市民生活部長 東栄小学校周辺の地区において、地元で協議を重ねゾーン30プラスの指定に向けて、合意形成を図っている。

Q 通学路のグリーンラインの現状の考え方、設置状況、今後両側にグリーンラインを引きドライバーの視認性を高めることができるのか伺う。

A 都市整備部長 道路の路側帯を緑色にカラー舗装し、ドライバーに通学路であることを認識させる。

A 都市整備課主幹 新たに設置、また引き直す場合は、破線のグリーンラインとしている。通学路の状況を考慮し、設置の対象を拡充していきたい。

Q 未就学児が利用する安全対策について

A 都市整備部長 防御柵や側溝の有蓋化による歩行空間の確保等を実施し、安全対策を推進していきたい。



通学路のグリーンライン

### Q 園児・児童の待機児童について

A 入所申込者数は、令和5年度より増加している

Q 待機児童について伺う。

A 保育課長 増加が見込まれるため、公立保育所で1歳児クラスの定員を拡大した。一人でも多く預け先が決まるよう案内の事務や相談に応じている。

A こども課長 児童クラブと学童クラブの申込みも増加している。

Q 中学生・高校生の居場所について

A こども子育て部長 白鳳児童館で月2回、第2と第4水曜日に17時から20時まで開館時間の延長の試行を始めた。今後、子ども達の意見も聴きながら、内容の充実等を検討する。



山下 幹雄 議員



(動画配信)

Q 総合公園の公共トイレにもトイレットペーパーを設置すべき

A 城山公園や維摩池で試行的に設置したい

Q 旭平和墓園や鉄道駅前広場の公共トイレでは、トイレットペーパーは設置されているが、公園のトイレはなぜないのか。

A 公園農政課長 いたずらや持ち去りが多発したため、およそ20年前より設置していない。

Q 出掛けたくなるまち、公園都市をうたう本市としては今の状況は残念だ。春にかけて総合公園でのイベントは多くなる。設置検討できないか。

A まずは利用者の多い、城山公園、維摩池のトイレにおいて、試行的に設置したい。

Q この度の震災でもトイレの重要性がクローズアップされている。各地から駆けつけたトレーラー型トイレは衛生的で現地でも大変喜ばれたと聞く。本市においても災害対策に限定せず、幅広い考え方で平時には総合公園の一角に停留し、市民サービスに使用できないか。

A 総務部長 トレーラー型トイレは、避難所などへ迅速な移動が可能。ライフラインの復旧状況などに関わりなく、すぐに使用でき、衛生的な環境が確保できる。今後、トレーラー型トイレを活用している自治体の事例を調査し、導入について検討していきたい。



困った！紙がない。

Q 公金詐取事件に係る元職員の上司に対する賠償責任と今後の対応について

A 監査結果により、賠償責任があると決定された

Q 監査結果が出たが、その状況はどのようなものであったか。

A 監査委員事務局長 監査委員会会議を計6回実施。報告書を取りまとめ市長に報告した。

A 企画部長 元会計管理者からは、賠償額の一部免除を求める申立てがあったが、当該損害が避けられない事故その他やむを得ない事情によるものであると認めるには至らなかった。よって現在は、賠償を命じるための手続を進めているところである。

## 個人質問



勝股 修二 議員



(動画配信)

**Q** 市役所における就労前インターンシップへの、障がいのある学生の方の受入れはどうか

**A** 障がいの有無は不問としているので、障がいのある学生の方もお申込みいただける

**Q** 就労支援事業の周知啓発について伺う。

**A** 健康福祉部長 福祉課前の通路の一角に、事業所の案内マップやパンフレット、製品を掲示しているほか、「福祉のしおり」に事業所の一覧を掲載するなどしている。周知啓発は事業所の活動を支援することにもつながると認識している。

**Q** 就労支援事業における働き手の育成について伺う。

**A** 人材育成の観点での事業所支援が重要になると考えている。今後は、事業所支援の一環として、専門研修の受講費用に対する助成の実施に向けて、準備を進めていきたいと考えている。

**この項目のその他の質問項目**

- ・本市行政機関における障がい者雇用について
- ・就労支援関連事業者に対する支援について

**Q** 自治会とその他市民団体の連携が自治体加入の入口となり得るかについて伺う

**A** 若い世代に自治会活動を知っていただき、加入のきっかけとなるのが可能と考えている

**Q** 自治会活動の負担軽減につ

いて伺う。

**A** 市民生活部長 デジタル化による負担軽減に着手するとともに、役員のモチベーションを上げるようなインセンティブに関する取組を研究している。

**Q** 文化会館において営利と判断される基準について伺う。

**A** 教育部長 基準としている入場料の額「1,000円」の是非については、見直す時期にあると感じている。

**この項目のその他の質問項目**

- 加入率について
- 目標値とその考え方について
- 自治会における業務負担の軽減について
- ・経済的に自立した市民活動団体となるための具体的な方法について



陣矢 幸司 議員



(動画配信)

**Q** 矢田川に架かる橋の耐震強度について

**A** 矢田川に架かる橋については、大規模地震が発生した場合においても、橋が落ちることのない地震対策を完了している

**Q** 公共施設に設置されている太陽光発電の災害時の利用について

**A** 災害対策監 携帯電話やモバイルバッテリーの充電など、効果的に活用できる設備であると考えている。

**Q** 移動設置型トイレトレーラーについて伺う。

**A** 総務部長 災害時には、迅

速に避難所などへ駆けつけ、ライフラインの復旧状況などに関わりなく、衛生的な環境が確保できるため、避難所生活において有効に活用できるものと認識している。トイレトレーラーを活用している自治体の事例を調査し、導入について、検討したいと考えている。



**Q** 国際交流協会について

**A** 国際交流協会とは、自治体に窓口がある、又は自治体の外郭団体などで多文化共生や国際交流を推進している団体

**Q** 国際交流協会の役割につい

て伺う。

**A** 市民生活部長 市と連携しながら、日本語教室、相談対応や情報提供、交流イベントなどの活動をする、地域の多文化共生と国際交流の拠点である。本市では、外国人のための日本語教室会と尾張旭国際交流会の2つの市民団体があり、それぞれの団体が市と連携し、活動をしている。

**Q** 国際交流協会に期待することについて

**A** 外国人の方が安心して暮らせるようになるには、市民の国際理解が不可欠であり、地域の日本語教室や国際交流団体の活動が必要である。市では、団体を支援し、また団体同士の連携が取れるよう調整を図りながら、継続して活動しやすい環境を整えていく。

## 個人質問



川村つよし 議員



(動画配信)

**Q** 中学3年間の給食費無償化を市独自で

**A** 引き続き国へ要望していく

**Q** 令和5年12月22日の「こども未来戦略」で、小中学校の給食費無償化について、令和6年6月13日までに実態調査の結果を公表し、課題の整理を丁寧に行い、具体的方針を検討するとしている。2030年までが人口減少を食い止めるラストチャンスだと言いながら、のんびりした言い方に思える。

国の制度として「小中学校給食」の無償化を行う場合、財政

負担の在り方は、幾つか考えられるが、早期に少子化傾向を反転させたいなら、学校給食の無償化の実施も急ぐべきだ。

政府が公表した数字で、子育て世代の世帯所得は25年間で、  
・35歳～44歳では、世帯所得が104万円減少。  
・45歳～54歳では、184万円減少したと言う。

給食費無償化の財政負担割合を国・県・市で3分の1ずつと仮定し、9年間の義務教育のうち中学3年間は、市の負担で取り組んではどうか。無償化を市で取り組む考えはないか。

**A** 教育部長 学校給食無償化は、国による全国一律の対応が求められるものと考えている。今後も国県の動向を注視し、市長会等を通じ要望等も引き続き行う。

**Q** 増えた温室効果ガスの排出削減も同時に考えるべき

**A** 増加したエネルギー使用量は再生可能エネルギーで賄う

**Q** 温室効果ガスの排出削減について、中学校体育館へのエアコン設置は日本共産党の重点政策の1つだったが、令和6年度予算に盛り込まれた。同時に温室効果ガスの削減を考えなければならない。温室効果ガスの発生増加分を相殺させる再生可能エネルギーの開発促進を検討すべきではないか。

**A** 市民生活部長 増加したエネルギー使用量は再生可能エネルギーで賄うことを検討することとしている。ソーラーパネルについて市全体で設置可能な施設を把握し、効果が高い施設を選定していくことを検討する。



大島 もえ 議員



(動画配信)

**Q** 「保育の受皿確保」を前提とした都市経営と定住促進について

**A** 受皿不足は人口流入や定住促進の点でも喫緊課題。待機児童解消は最優先

**Q** 目標値や状況改善のための具体策について伺う。

**A** こども子育て部長 実績値を踏まえた必要量を設定し、民間事業者との連携強化を図り、効果的な施策を検討する。

**Q** 認可外保育施設通所の場合差額助成による負担軽減策を

**A** 保育課長 本市では認可外保育所への待機児童受入れに対する委託費により間接的な保護

者負担軽減を図っている。認可外保育所を利用する方への直接補助という提案は預け先の選択が広がる効果が見込まれる。待機児童対策の一つとして他市実施状況等を調査研究する。

**Q** 「こどもファースト」プライバシー・心情・安全配慮の教育環境整備を

**A** 尊厳なくして教育活動は成立しないと考え、日々指導力向上に努めている

**Q** 学校が「行きたい場所」「行きたくない場所」としての改善に努める必要がある。

さらに、学校へ「行けない・行かない」選択に対しては、社会的自立を目指し「学校復帰を目的としない」学校以外の多様な選択肢を増やし、その選択を特別視されなくなる社会認知の醸成が必要と考え、対応を伺う。

**A** 教育長 当事者や教員のみ

でなく社会全体で理解を育めるよう取り組み続けていく。

**Q** 被災時対策に、募集・応募型で民間資源（備蓄・井戸水など）との連携を

**A** 支援内容を提示し募集する仕組みづくりを、早速情報収集し、検討したい

この項目のその他の質問項目

・通電火災予防のための感震ブレーカー導入支援策について  
その他の質問項目

○18歳成人の節目を捉えたお祝いと社会人準備のための学びの提供について

○行政サービス・教育活動等の中のジェンダーバイアス点検と対応について

○地域資源を生かす拠点とネットワークづくりについて

・ギャラリースペースの専門性向上と拠点機能及びネットワークづくりについて

# 委員会の活動状況

## 予算決算特別委員会

委員長 さかえ章演

3月8日、13日、14日、15日、18日に開催しました予算決算特別委員会に付託されました案件は、議案12件でした。

### ◇主な審査内容

#### ◎第1号議案

総務分科会で、尾張あさひ苑維持管理事業の増額補正について質疑があり、「宿泊者数がコロナ禍前の水準を回復できておらず、物価高騰の影響もあり、収支の悪化が見込まれるため追加補正をした」との答弁でした。

#### ◎第5号議案

福祉文教分科会で、学校施設整備事業（中学校）の中学校体育館等空調設備整備工事設計委託料について質疑があり、「部活動などの活用頻度の高い中学校から先行整備し、その後小学校を計画的に整備していく」との答弁でした。

都市環境分科会で、三郷駅周辺まちづくり事業について質疑があり、「順調に進めば、令和7年の年明けに権利変換計画が認可される見通しであると聞いている」との答弁でした。

総務分科会で、防災倉庫整備事業では、大型防災倉庫新設に当たり、既存の3つの防災倉庫の今後の対応や、新設倉庫の温度管理などについて質疑があり、「既存の

3つの防災倉庫については、売却や別目的での利用、備蓄倉庫の空きスペースなどを検討していく。新設倉庫については、換気扇などの空調設備について検討したい」との答弁でした。

### ◇審査結果

第1号、第2号、第3号、第4号、第7号、第8号、第11号、第12号議案は全員賛成、第5号、第6号、第9号、第10号議案は賛成多数で可決しました。また、第5号議案の附帯決議案は賛成多数で可決しました。

## 福祉文教委員会

委員長 秋田さとし

3月13日に開催しました福祉文教委員会に付託されました案件は、議案8件、陳情1件でした。

### ◇主な審査内容

#### ◎第17号議案

体育施設の設置及び管理について質疑があり、「令和5年7月から空調を稼働して7月から10月までの夏季期間としては、約190万円の光熱費となり、また冬の12月、1月の実績は45万円。光熱費のコストは年間で約400万円を見込んでおり、一定の負担割合から、その費用の一部を増額分で賄う」との答弁でした。

### ◇審査結果

第18号、第19号、第24号、第25号、第26号議案は全員賛成、第17

号、第22号、第23号議案は賛成多数で可決しました。また、陳情第1号は、賛成なしで不採択としました。

## 都市環境委員会

委員長 安田吉宏

3月14日に開催しました都市環境委員会に付託されました案件は、議案5件でした。

### ◇審査結果

第20号、第21号、第27号、第28号、第29号議案は全員賛成で可決しました。

## 総務委員会

委員長 市原誠二

3月15日、22日に開催しました総務委員会に付託されました案件は、議案6件でした。

### ◇主な審査内容

#### ◎第14号議案

監査委員事務局の増員の理由について質疑があり、「監査機能を強化するために必要な増員である」との答弁でした。

#### ◎第30号議案

予定価格の算出根拠について質疑があり、「複数者から参考見積りを取り独自の積算で予定価格を算出した」との答弁でした。

### ◇審査結果

第13号、第14号、第15号、第30号、第31号、第32号議案は全員賛成で可決しました。

## 女性の意見を聴く会～みんなでジェンダーギャップを考える～を開催しました

暮らしの中にあるジェンダーギャップによって生じている問題を知り、一般的にジェンダーギャップにおいて不利といわれる女性の意見を聴くことで、女性の視点から住民の声を反映させるとともに、政治分野における男女共同参画を考える機会とすることを目的として令和6年1月28日に開催しました。

当日は、市民と議員が一緒になって講師からジェンダーギャップに関する説明を聴くとともに、8グループに分かれて「日常生活でモヤッと感じたこと」をテーマに意見交換を行いました。



市議会ホームページ▶



## 議会日誌

### ●2月

- 2日 愛知県市議会議長会 定期総会（知多市）
- 7日 議会運営委員会  
議会みらい創造特別委員会  
【日本共産党尾張旭市議団】  
政務活動（7～10日 オンラインセミナー）
- 15日 議会運営委員会  
各派代表者会
- 16日 全員協議会  
議会報告会実行委員会
- 20日 全国市議会議長会地方財政委員会（東京都千代田区）
- 26日 議会運営委員会  
各派代表者会
- 27日 令和6年第1回3月定例会（初日）

### ●3月

- 5日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議（一般質問）
- 8日 本会議（一般質問）  
予算決算特別委員会(全体会)

- 13日 福祉文教委員会  
予算決算特別委員会福祉文教分科会
  - 14日 都市環境委員会  
予算決算特別委員会都市環境分科会
  - 15日 総務委員会  
予算決算特別委員会総務分科会
  - 18日 予算決算特別委員会(全体会)  
議会みらい創造特別委員会
  - 19日 各派代表者会
  - 21日 議会運営委員会  
議会報告会実行委員会
  - 22日 本会議（最終日）  
総務委員会
  - 29日 【愛知維新の会尾張旭市議団】  
政務活動（東京都杉並区）
- ### ●4月
- 10日 各派代表者会
  - 11日 議会運営委員会  
議会広報委員会
  - 18日 富山県小矢部市議会議会運営委員会行政調査来庁  
東海市議会議長会 定期総

- 会（岐阜県岐阜市）
  - 20日 議会報告会
  - 23日 各派代表者会
  - 24日 各派代表者会
  - 26日 議会みらい創造特別委員会  
議会運営委員会
  - 30日 議会広報委員会
- ### ●5月
- 8日 【日本共産党尾張旭市議団】  
政務活動（8・9日 東京都国分寺市）
  - 9日 議会運営委員会  
議会報告会実行委員会
  - 15日 各派代表者会
  - 17日 令和6年第2回5月臨時会
  - 22日 全国市議会議長会定期総会（東京都千代田区）
  - 23日 市議会議員共済会 代議員会（東京都千代田区）
  - 28日 議会広報委員会
  - 30日 議会運営委員会  
議会みらい創造特別委員会
  - 31日 全員協議会

## 令和6年能登半島地震への支援金等

令和6年能登半島地震の被災地域を支援するため、尾張旭市議会議員互助会は、2月22日に大規模災害時等における相互応援に関する協定を締結している輪島市に対して尾張旭市を通じて支援金200,000円、被災地域に対して北信越市議会議長会を通じて義援金100,000円を送りました。

### 編集後記

新年度から「広報おわりあさひ」がリニューアルし、発行回数が月1回になりました。これに伴い「市議会だより」もリニューアルが計画され、2024年度の議会広報委員会の仕事になりそうです。

市議会の議論が、より分かりやすく伝わる、市議会だよりを目指して検討していきます。

川村つよし

### 議会広報委員会

- 委員長 川村つよし
- 副委員長 芦原美佳子
- 委員 いとう伸一 大島 もえ  
勝股 修二 陣矢 幸司  
谷口 武司
- 副議長 松原たかし（オブザーバー）

※今号につきましては、令和6年4月30日時点の議会広報委員が担当しております。